

平成17年3月

京都市都心部(まちなか)への配送車輛

低公害車化の取り組み

～大気環境の改善および地球温暖化防止に寄与～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下セブン-イレブン・ジャパン、東京都千代田区、代表取締役社長兼ＣＯＯ：山口俊郎）は、京都市と事業者とのパートナーシップのもとに設立された「京都市都心部（まちなか）グリーン配送協議会」が推進する「京都市都心部^{まちなか}グリーン配送」に協力し、平成17年3月より限定エリア内へのセブン-イレブン7店舗への配送に際し、平成17年度内に全配送車輛を低公害車輛にし、環境対策等を推進してまいりますのでご案内いたします。

このたびの取り組みは、京都市の旧市街地である都心部（丸太町通、川原町通、五条通、堀川通に囲まれた地域）において①環境に配慮した運転 ②荷物の効率的な配送 ③低公害車輛の導入 を積極的に行なっていくというものです。セブン-イレブン・ジャパンは、日頃から取り組んでいる環境に配慮した効率的な物流に対し、車輛改善まで取り組み範囲を広げ、すべての配送車輛に対し低公害車輛を導入してまいります。協議会が推進する取り組みに賛同し協力することによって、自動車によって引き起こされる地域環境問題にも貢献できるものと考えており、またこの取り組みが京都議定書採択の地において行われることを大変有意義であると認識しております。

セブン-イレブン・ジャパンは、物流はもとより、安全で良質な商品・サービスの提供、地域そして社会へのさまざまな取り組みを通じて、継続的に社会的責任を果たしていくことを目指しています。また環境対策についても、製造-配送-販売-消費の個々の場面において起こり得る環境問題に対し、加盟店やお取引先とともに積極的に負荷削減に取り組んでまいります。

以上